

新刊のご案内

究極の美を探求する挑戦の書！ 絶対的表現者の美についての哲学論考

究極の美の探討。「汎美」を越えて、理想美の本質へ

キーワード

哲学、思想、文学、美、究極の美、永遠の美、美の根源、
美自体（美そのもの）、汎美、真理探求、知恵の探求、
本体一元論（実体一元論、理体一元論）、多元宇宙論

書籍タイトル

美の哲学論考

内容

究極の美へと迫る哲学論考。本書では〈本体一元論〉の理解を通して、人間の最高精神の活動によって把握される永遠原因における美の本質を明らかにしていく。最初に独自の美の定義から出発し、それから感覚（視覚）による美ならびに知性による美などが考察される。人間知性によって理解された美において、世界の一回性なる生成消滅（誕生と消滅）の展開の美から世界の悠久性・恒常性の展開の美、さらに世界の一部としての人間の内なる普遍美などの討究を経て、最後には人間における最高段階の認識すなわち観照なる真知直覚によって世界化された本体の観念の美（美自体）との本質一致を試みる。それゆえに、本書は「全ての美は一なる美を起源とする」ことの解明に挑む稀有な真理探求者に向けられた知的挑戦の書である。

Opus Majus（オプス マイウス出版）

【著者】 倉石 清志 (Seiji Kuraishi) 博士 (学術・文学)

Email opusmajus.info@gmail.com

〔著書〕『創られざる善 創作に関する書簡集』、『隠者の小道』、『永劫選択』、『最も近き希望』、『陽だまり 他一篇』、『尊敬についての随想』、『夢想』、『風紋哀詩』、『多くの一人』（監修）

TEL (担当直通) 090-7659-7278

FAX 0166-30-1415

貴店印

『美の哲学論考』 倉石 清志 著

2025年1月17日 刊行

本体価格 3300円 (税別) 122頁 四六判 (上製)

冊

ISBN 978-4-905520-19-1 C1010

※上製本もごさいます

978-4-905520-10-8 C1010

関連書籍

『創られざる善 創作に関する書簡集』（並製版）

本体価格 1800円 (税別) 138項 A5判

冊

ISBN 978-4-905520-13-9 C1010

【オプス マイウス FAX 0166-30-1415】

※ (株)JRC 経由で、すべての取次への出荷が可能です。